【1ページよりつづく】

お年寄りが入れる「区営住宅」の増設運動も

小関　まずは、準備から3年がかりで完成したグループホーム「しおかぜ」に対し、ご協力いただきました各方面のみなさんと、増資にご協力くださった組合員のみなさんに厚くお礼申し上げます。

私は毎週月曜日に大森中診療所で「なんでも相談」を行っていますが、本当に深刻な相談ばかりです。（毎週木曜日は色部常務理事）

年をとって一人暮らしになると、身内に保証人がいなければ、安いアパートが見つかっても転居することができない、都営住宅は何回申し込んでも当たらないので途方に暮れている。また別の高齢者からは、わずかな国民年金だけでは治療費や薬代も大変で、この先どうして暮らせばよいのか…などなど切実な問題ばかりです。また、後期高齢者医療制度で保険料を年金から天引きするなんて「年寄りは死ね」というのかと怒りをぶつける方もおりました。

城南保健生協は2カ所目のグループホームをつくりましたが、まだまだ認知症で困っている方は大勢いますので増設が必要ですが、今後はますます一人暮らしのお年寄りが増えていきますので、区が積極的に地主さんに呼びかけ、お年寄りが安心して暮らせる「シルバーピア住宅」の増設運動にも力を注ぎたいと考えています。

最初のグループホーム「虹の家みちづか」

神岡　植田さん、「みちづか」が開設されたころは大田区内のグループホームは12カ所とお聞きしましたが。

悪政を変え、医療・福祉・介護の充実を

植田　城南保健生協は、大田区・品川区を中心に運動をしていますが、グループホーム建設にあたり、大田区内に建設する場合は、大田区と東京都から補助金が出ます。「しおかぜ」は大田区で19カ所目のグループホームです。

また、城南保健生協のグループホームは2カ所とも生活保護を受けている方でも入居できる家賃設定になっていますが、入りたくても家賃や入居一時金などが高くて入れないという施設もあります。これは、小泉内閣からの医療費削減政策でお金がなくては医療も介護も受けられないシステムにされてきたことによるものです。グループホームは数が増えるだけでは駄目です。収入が少ない人でも入れる施設が必要ですし、政治のあり方が問われます。

2008年は、後期高齢者医療制度や派遣切りなどが社会問題になり「蟹工船」ブームといわれましたが、医療崩壊や介護難民をくい止める運動が盛り上がった年だったと思います。

しおかぜ個室

小関　グループホームをもっと増やすには、自治体からの援助が必要です。本来であれば自治体がつくらなくてはならないものを民間がつくる場合には、もっと援助すべきです。このような声もどんどんあげていきましょう。

薬にも医療費抑制が

神岡　私も時々、薬局の窓口で患者さんと話をすることがありますが、高齢者から医療や介護に対する不安や負担増への不満の声を聞くことが多いです。2006年6月に大森薬局は、2階から1階へ移転することができました。薬局を利用しやすくなったと思います。また多くの医療機関からの処方せんを受けるようになりました。医療費抑制策を国はいろいろな角度からすすめています。例えば、血圧を下げる薬、コレステロール・中性脂肪を下げる薬など、風邪薬などをドラッグストアなどで簡単に買えるようにすすめています。すでにコレステロール・中性脂肪を下げる薬の市販が認可されました。

今年度の抱負は

千田　新大田病院建設が一番の課題です。建設成功のためには、人材確保、経営も大切です。また、新病院では、1ベッドあたりのスペースは現在の約2倍の大きさになります。

リハビリ室なども広くなります。部屋ごとにトイレもありますが、もちろん差額はありません。設備面も電子カルテの導入や情報公開などの充実により、さらに患者さんの要求に応えられる病院づくりをしていきたいと思います。

橋本　認知症の方とは、その人の心と向き合っていくことが大切です。全職員がその人をよく知って、心と向き合って、笑顔がみられる支援をしていきたいと思います。

植田　3法人で力を合わせがんばる年です。新大田病院、グループホーム、地域に信頼される薬局。運動面、事業面の両面から推進していくことが大切です。地域の方々と一緒に運動をすすめていくことで世の中を変えていく決意です。

とりわけ介護報酬は、4月に3％上がるといわれていますが、今まで4・7％下がっています。まだ元に戻らない。当面元に戻す運動をすすめていくことも大切です。

小関　城南保健生協は、一昨年創立30年を迎えましたが、総代会でも決議された「いっそう頼りになる保健生協」にしていきましょう。数は力になります。組合員さんをさらに増やし、国民に目を向けた政治に転換していきましょう。健康づくり運動を通して政治を変えていきましょう。

神岡　利用してよかったと思われる薬局、相談しやすい薬局をめざしていきます。私たち城南3法人は、協力して「誰もが安心して住み続けられるまちづくり」のために、より一層運動を広げていきたいと思っています。

今の医療、介護、生活環境を思うと、政治を変えていかねばと強く感じています。人は必ず老いるものです。そうしたとき、少しでも不安が解消でき、生活していけるような「まちづくり」が必要で、そのためには、今すすめているネットワークづくりが大切だと思います。組合員さんを増やし、職員・地域のみなさんでさまざまな運動の輪を広げていけたらと思います。本日はありがとうございました。

まちがいさがし

まちがいさがしの解答

①羽子板の羽根の向き
②ぶたの口の形
③女のこの髪かざりの模様
④男のこの頭の毛が1本しかない
⑤着物の柄に花模様がない
⑥目の中の形
⑦女の人のおでこの×の形